

○議 事 日 程

令和7年12月9日（火）午前10時00分開会

令和7年度第4回守口市まち・ひと・しごと創生委員会

○出 席 委 員 （8名）

副委員長	山	口	行	一	委員
	花	木	完	爾	委員
	喜	納	厚	介	委員
	高	田	友	成	委員
	小	西	雅	晴	委員
	渡	部	恭	子	委員
	廣	野		愛	委員
	玉	野	裕	子	委員

○欠 席 委 員 （7名）

委員長	眞	鍋		昇	委員
	乾		浩	一	委員
	宮	前		能	委員
	北	川	恵	一郎	委員
	吉	川	江	里	委員
	平	野	哉	枝	委員
	軸	原		修	委員

○事務局

企 画 財 政 部 長	林	慶
企 画 課 長	内 橋	真 吾
企 画 課 長 代 理	佐 藤	利 秀
企 画 課 主 任	山 本	晋 士
企 画 課 主 査	阪 口	智 彦
魅力創造発信課長代理	西 尾	直 樹

~~~~~  
◇ 午前10時00分 開会

○副委員長 皆様おはようございます。

定刻となりましたので、令和7年度第4回守口市まち・ひと・しごと創生委員会を開催させていただきます。

委員の皆様には御多忙の中、御参集を賜り誠にありがとうございます。

本日、本来なら委員長に議事進行いただく予定でしたが、急遽、体調不良により欠席されるということですので、副委員長の私が、議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、皆様にお願いがございます。本委員会は、議事録作成のために録音をさせていただいております。御了承いただきますようお願いいたします。

それでは次に、事務局より本日の出席委員数について、報告をお願いいたします。

○事務局 本日の出席委員数は、定数15名中8名となっております。

○副委員長 ありがとうございます。ただいま事務局から報告がありましたとおり、守口市まち・ひと・しごと創生委員会条例第5条第2項の規定に基づき、定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

次に、事務局より本日の資料について、説明を受けます。

○事務局 本日の資料に関して、御説明いたします。

委員会全体の資料については、事前に各委員にメールにて一式を送付させていただいております。

そして、机上には、当日資料として「答申書鑑文（案）」を御用意しております。事前送付資料と当日資料を含む本日の会議資料につきましては、お手元のパソコンに同じものを御用意しております。そして、参考として、委員名簿を格納しております。

なお、資料ごとの御説明は割愛いたしますので、恐れ入りますが、お手元のパソコンにより御確認いただきますようお願いいたします。操作など

御不明な点がございましたら、事務局までお声かけください。

○副委員長　ありがとうございます。

それでは、早速ではございますが、議題に入らせていただきます。

議題1「第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る答申について」、事務局から説明を受けます。

○事務局　それでは、「第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る答申について」、御説明いたします。

8月6日の第1回の創生委員会で諮問いたしました「第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」、これまで3回にわたる創生委員会において、様々な御意見をいただきました。

第3期戦略（案）では、第2期戦略に定める数値目標の達成状況を踏まえ、「守口創生の基本理念」を、現・戦略に引き続き「子どもといきいき暮らせるまち、子どもにとって良き思い出があふれるまち」と定め、基本理念の下に定める「基本目標」や、それぞれの「基本的方向」に定めるKPIや取組について、これまでの委員会での御意見を踏まえ、市として検討し、作成したものが、今回お示しします「第3期戦略（案）」でございます。

この「第3期戦略（案）」については、委員の皆様には事前に御確認いただいておりますが、改めまして、前回の委員会でお示ししましたものから修正した点について、御説明いたします。

恐れ入りますが、資料の31ページを御覧ください。

戦略（案）の31ページ以降には、4つの基本目標の基本的方向ごとにそれぞれKPIを定めており、それぞれのKPIの「初期値」と令和12年度に「めざす値」について、これまでの実施状況等を踏まえつつ、設定しております。

そして、前回の委員会においていただきました御意見を踏まえ、取組内容について一部修正しておりますので、その部分について御説明いたします。

まず、32ページにまいりまして、「プレコンセプションケアの推進」については、「市民が分かりやすい説明を補足してはどうか」という御意見と、「高齢出産も増えている中で、『若い世代』という記載は必要か」という御意見を踏まえ、注釈を追加するなど、記載内容を修正しております。

そして、41ページにまいりまして、K P I の最後の項目の「公園施設の維持管理における改善要望数」については、「42ページの取組の内容に『公園施設の維持管理レベルの向上』とあるので、それに関するK P I もあればいいのではないか」という御意見を踏まえ、「公園の維持管理レベルの向上」に関するK P I として追加しております。

以上が、前回の戦略（案）から修正しました点でございます。

なお、第3期戦略（案）の文中表記のうち、軽微な文言修正や、内容の趣旨を変更しない範囲での文言追加等の整理は事務局で行いましたので、御理解賜りますようお願いいたします。

以上、今回お示しします「第3期戦略（案）」をもちまして、委員会からの御答申としていただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

○副委員長　ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたように、第2期戦略に定める数値目標の達成状況を踏まえ、第3期戦略（案）に定める守口創生の基本理念を、第2期戦略から引き続いて「子どもといきいき暮らせるまち、子どもにとって良き思い出があふれるまち」と定め、この基本理念に沿って、4つの基本目標を定めたところです。

今回お示ししております第3期戦略（案）については、これまで3回にわたる創生委員会での御意見を踏まえて、守口市で検討し、作成されたものであり、委員の皆様には既に御確認をいただいているという状況でございます。

したがいまして、第3期戦略（案）をもって守口市長に答申したいと存

じますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○副委員長 ありがとうございます。

それでは、本案をもって守口市長に答申をいたします。

守口市長 瀬野憲一様

守口市まち・ひと・しごと創生委員会副委員長 山口行一

第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(答申)

令和7年8月6日付け守企第985号で諮問のあった標記の件について、別添のとおり答申します。

今後、本答申を尊重の上、第3期戦略を策定されるとともに、この戦略に基づき、本市の地方創生(守口創生)が更に推進されることを期待します。

なお、今後とも各委員それぞれの立場において、守口創生に向けた取組を貴職とともに推進するため、第3期戦略の進捗状況を踏まえた効果検証等について引き続き意見を申し上げるものです。

(企画財政部長に手渡し)

○副委員長 ただいま答申を行いました。

それでは、引き続き議事を進行いたします。

ここで、企画財政部長から御挨拶をいただきます。

○企画財政部長 皆さん、今答申をいただきました。ありがとうございます。

第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係る答申の拝受に当たり、市長に代わりまして、御挨拶申し上げます。

本年8月に本委員会へ諮問させていただきました、第3期戦略につきまして、眞鍋委員長、山口副委員長をはじめ、委員の皆様方には、あらゆる角度から御審議を得て、本日ここに御答申いただき、厚く御礼を申し上げます。

加えて、委員の皆様におかれましては、公私ともに御多忙の中、日程調

整の上、本委員会に御参加いただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、本第3期戦略では、現・戦略に引き続きまして、「子どもといきいき暮らせるまち 子どもにとって良き思い出があふれるまち」を守り創生の基本理念として掲げてきたところでございます。

今後とも、社会情勢の変化や多様化する行政ニーズ等に対応するとともに、第3期戦略に掲げる施策の実現を着実に進めていくため、その基盤となる行財政改革にもしっかりと取り組みつつ、全ての世代の市民の皆さんが、いつまでも、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進していきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、今後とも市政推進のため、より一層の御支援を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

○副委員長 ありがとうございました。

それでは、次の「その他」について事務局から説明を受けます。

○事務局 それでは、「その他」として、3点御説明いたします。

まず、「今年度の今後の予定」についてです。

今年度の創生委員会は、本日の会議が最後となります。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、第3期戦略（案）の検討に御協力いただき、誠にありがとうございました。

第3期戦略（案）は、今後、12月下旬から約1か月かけましてパブリックコメントを実施し、今年度末の策定を予定しております。

委員の皆様には、パブリックコメントの実施結果の御報告と、最終確定しました第3期戦略及び人口ビジョン（改定版）を、適宜メールにて送付し、共有させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、「創生委員会委員の任期」についてです。

令和8年3月をもちまして、委員の皆様が任期が満了となります。任期満了まで少しの間がございしますが、委員の皆様におかれましては、2年

にわたり、本委員会の委員として御参画いただき、様々な御意見を賜りまして、改めまして御礼申し上げます。

本市といたしましては、今後とも、新たに策定する第3期戦略に基づき、委員の皆様からいただきます御意見を参考に、守口創生のさらなる推進に取り組んでまいります。

最後に、「4月以降の次期創生委員会の委員選出」についてです。

公募となっております市民委員以外の方々につきましては、別途、改めて委員就任の御依頼をさせていただく予定としておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

次期委員の就任に関して、まだ御承認をいただいていない状況ではございますが、来年度の本委員会の予定をお伝えいたします。

来年度は、例年どおり、委員会を2回開催する予定としており、第1回を7月頃に、第2回を2月頃に開催する予定でございます。開催日が近づいてまいりましたら、委員の皆様には日程調整等の御連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

説明は、以上でございます。

○副委員長　　ありがとうございました。

事務局からの説明が終わりました。委員の皆様、御意見・御質問がありましたらよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

本日予定していた案件は、これで以上となります。

最後に、今年度の会議はこれで最後となり、また2年間の任期が満了となることから、皆様から一言で構いませんので、順番に御意見、御感想等を賜ればと思います。

申し訳ありませんが、委員から時計回りによりしくお願いします。

○委員　　ありがとうございます。素晴らしい計画が出来上がりましたので、ぜひ成果につながるように、各部署での取組にまた精を出していただきたいなと思います。

私も、前回は申し上げましたけども、第1期の途中から入らせていただ

いて、ほぼかれこれ10年近くなると思います。守口市さんでは、特化した取組で非常に成果を得ておられますので、今後も注目していきたいと思えますので、ぜひ御活躍を期待しております。ありがとうございました。

○委員　　まずは、このたびは、市民委員として選出いただきありがとうございました。

私が守口市に引っ越してきたのが、ちょうど3年前のタイミングになるんですけども、幼少期に住んでいたこともあって、懐かしいまちに久しぶりに帰ってきたなといったところで、今回、このような機会を与えていただけましたことを、とても感謝しております。

若者であったりだとか、お子さんをお持ちの方にすごい優しい市だなというのを、すごく改めて実感しまして、今回こういった創生総合戦略につきましても、我々の意見等も反映いただきまして、市として、皆さんを巻き込みながら成長していく姿がすごく印象的でした。

今後も、市民として守口市に協力できるところはどんどんさせていきたいなと思っていますので、任期としては以上になるんですけども、今後ともよろしく願いいたします。

○委員　　このたびは、このような御機会をいただきありがとうございました。

私も、6年前に子どもを妊娠したのをきっかけに、子どもにいいまちにと思って守口市に引っ越してきて、本当に、いろいろなお金を使っていたいて、私事ですけど、子どもが生まれてすぐ入院したので、退院のときに、会計で200万、300万っていうお金がかかるとなったときに、市役所に手続きをしに行ってくださいと言われて、その時に、いろいろな御援助をいただいたので、この案内が来たときに、そのお返しでもできればという思いで参加させていただきました。こういう自分たち市民の意見をたくさん反映させてもらえる会議があったことが、すごくうれしかったです。ありがとうございました。

○委員　　私も、この2年間、こちらの会議に参加をさせていただきました

て、市民の皆様はじめ皆様の御意見を承って、あるいは計画を拝見させていただいて、非常に勉強になる有意義な機会でした。

皆さん、おっしゃっていますけれども、しっかり我々の議事内容が反映された計画を答申させていただきましたので、ぜひ実現に向けて、よろしくお願ひしたいと思ひます。

もっと先の話にはなると思ひますが、今まで若者中心に市の発展を図ってこられたということですが、その若い方も、いずれは中年になって、高齢になっていかれます。守口市は、非常に高技能高齢者の多いまちだというのが非常に特徴的なところがありまして、そういった方たちを、しっかりマイスターとして次のお仕事であったり、第2ステージにつなげていくという取組を、来年の1月以降、一定期間、ハローワークとしてやりたいと思っておりますので、ぜひ、まちとしても将来的に、そういったマイスターの皆さんが、ボランティアであったり、あるいは趣味以外に働くことで、社会参加できるようなまちにしていだければ、若い方の定着も進んでいくのではないかとこのように思っているところです。

最後になりますけれども、どうも皆さんありがとうございました。

○委員　私も、金融機関の代表ということで参加させていただきました、途中からになりますけれどもありがとうございました。

一応、私も守口市民という立場でもあり、今回の第3期総合戦略の中身をいろいろ見させていただいて、しっかりと計画を立てて、守口市さんはやってらっしゃるなと思ひました。

特に、若い世代の転入が多いところが、非常に強みだと思ひますし、一方で、委員がおっしゃっていたように、その後、しっかりと定着させていく。それもしっかりと基本目標の中に、例えば基本目標の3に、「子育てファミリー世帯の守口定住を促す」というところ、しっかりと盛り込まれていますので、そこがしっかりと目標を達成できるように、フォローアップというか、ウォッチをしていくというのが大事なのかなと思ひます。

金融機関を代表して、なかなかお話をすることがなかったのですけれど

も、例えば、まちの魅力とか、あとは教育保育サービス、そういったところで、民間の企業さんが、当然関与するところがあると思いますので、我々とか、枚方信用金庫さんとか、金融面で、その事業者の支援というところは、ここに直接は関係ないかもしれませんが、しっかりと取り組んでいきたいなと思っております。

こういった機会をいただきまして、どうもありがとうございました。

○委員 皆さんもおっしゃっていますけども、本当に貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

約40年間、私企業で働いてきましたが、こういう公的なことについて議論されるような場に参画したことがなかったので、非常に刺激にもなり、素晴らしいことだなと思って参加させていただいていました。

特に、市民委員の方々が、かなり積極的に発言をされ、それを受け入れようとされておられる市の方々の姿勢が素晴らしいなと思って聞かせていただいていたいました。

近年では、公的な取り組みにもクラウドファンディングやふるさと納税、遺贈、ボランティアなどで個人の皆さんの影響力が高まっている中で、企業代表としては、何で貢献できるだろうかと考えながら参加させていただいていましたが、同じ活動をしたり、お金を使うのであれば、その効果の高め方などのアイデアなどで、少しでもご参考になればという視点で発言させていただいておりました。

特に、展示場や展示会を20年ぐらい担当した経験から、今回の計画で、イベントの数を増やすことを考えられておられますが、リアルイベントは、手間とお金がかかる割になかなか波及効果が上がらなかつたりしますのでイベントの参加者を増やす努力に加え、その情報を、ホームページに載せて、アクセス数を増やすとか、子育てイベントがあれば、どんな資料の中でも、「子育て頑張っている市だよ」と分かるキャッチフレーズやマークを作りアピールするとかをやられるとより費用対効果が高まるのではと思いました。非常に充実した取組だと思っておりますので、素晴らしい活動をやっ

ていると、胸を張ってアピールをされたら良いのではと思います。ぜひ頑張ってください。どうもありがとうございました。

○委員　　この委員会に参加させていただいて2年ということですが、私も非常に勉強になったといえますか、そもそものテーマが、学問的に言えば、「何でそこに住むのか」というテーマだったかと思います。

経済学だったら、足による投票とか、地価で決まるとか、帰無仮説とか、いろいろあるんですけども、それも含めて、もうちょっとリアルなというか、現実のニーズとかも目の当たりにして、そちらをかなり勉強させていただいたと思います。

最近、子どもが生まれた経緯もありまして、前回は出席できなかったんですけども、守口市さんの子育ての取組とか、ほかの自治体との違いとか、割と特異というか特殊にやられているところが非常にあるなというふうに、今、再び認識したところもありますので、こういった子育ての取組を支援するということは、やっていただけたらいいのかなと思っています。

最終的な事業戦略としても、経営戦略では、「何をやる」ではなくて、「何をやらないか」ということのほうが大事なんです。つまり、絞るっていうことが大事なんですけど、そういう面で見ても、結構、理にかなったものになっているのではないかと思います。

ということで、よい戦略ができていたということなので、またぜひ、それを実施していただいて、そちらの検証もしていただけたらなと思っています。引き続き、よろしくお願いいたします。

○副委員長　　ありがとうございます。

最後に私からも一言、申し上げたいと思います。

委員の皆様におかれましては、本年8月から約半年間にわたりまして、公私何かと御多忙の中、委員長を中心に第3期戦略の策定に係る御審議を賜り、誠にありがとうございました。

本日、答申いたしました戦略につきましては、若い世代が、守口市に魅

力を感じて、居住先として選択していただくということと、子育てをして  
住み続けていただくというための様々な施策を取りまとめたものだという  
ふう認識しております。

本委員会では、守口市の「まちの魅力」を効果的に、分かりやすく発信  
するにはどういった手法が有効か、あるいは、希薄化する地域とのつなが  
りをどのようにつくっていくかなど、それぞれのお立場から様々な御意見  
や御提案をいただきました。その実りある議論が円滑にできたことは、委  
員の皆様の御協力のたまものであると考えております。

戦略は、先ほどもお話にもありましたが、策定するだけでなく、実行し  
て、根気強く取り組み続けることがやはり大切だと思います。また、我が  
国では人口減少や晩婚化、出生率の低下、そういったものが進んで、加え  
てまた自治体間の競争というのが激化しているという状況において、人口  
の増加や出生率の上昇というのは決して簡単なことではないと思うんで  
すけれども、引き続き守口市が子育て世代に選ばれ、「魅力あるまち」と  
してますます発展していくことを願っています。

最後に、守口市の職員の皆様におかれましては、これまで委員の皆様か  
らの御意見や御提案を参考に、新たな守口創生に向けた施策の具体化を図  
っていただくようお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

それでは、ここで委員会のほうを終了したいと思います。どうもありが  
とうございました。

◇ 午前10時30分 閉会

~~~~~